

# 地 理 編

- 地-問101. ③ P 1 小松市の面積は371.05km<sup>2</sup>。(『令和2年度版 市勢要覧』による)
- 地-問102. ④ P 1 小松市の世帯数は44,277世帯。(『令和2年度 小松市統計書』による)
- 地-問103. ⑤ P 1 市制40年(昭和55(1980)年)を記念して制定された。
- 地-問104. ① P 2 作詞：蕪城 正芳、作曲：今井 松雄。昭和16(1941)年3月20日制定。
- 地-問105. ② P 2 歌舞伎「勧進帳」に登場する「弁慶」をモデルにしたデザイン。
- 地-問106. ① P 3 スザノ市(ブラジル)と昭和47(1972)年7月11日に姉妹都市提携した。
- 地-問107. ② P 3 ベルギー。首都ブリュッセル市から北東へ約15kmに位置する。
- 地-問108. ③ P 4 玉ねぎ、唐辛子、柿などが主要農産物。観光資源として釜谷温泉が有名。
- 地-問109. ⑤ P 5 カンボジア。トンレサップ湖やアンコール遺跡の観光拠点として知られる。
- 地-問110. ④ P 6 鈴ヶ岳(標高1,174m)に源を発し、安宅町で日本海に注いでいる。
- 地-問111. ⑤ P 6 昭和27(1952)年に着工され、昭和44(1969)年に完成した。
- 地-問112. ⑤ P 7 山中温泉とその背後の我谷ダム、富士写ヶ岳(942m)、そして付近の最高峰である大日山(1,368m)などからなる公園。
- 地-問113. ② P 8 大倉岳(標高650m)は、冬はスキー、春はミズバショウのハイキングに熊笹の稜線歩きと、半日で高山の気分を満喫できる山であり、家族連れには最適である。
- 地-問114. ② P 9 大日川は手取川に合流する。
- 地-問115. ① P 10 小松市金野町で合流して、梯川になる。
- 地-問116. ② P 10 大杉谷川は郷谷川と合流(小松市金野町)して、梯川になる。
- 地-問117. ⑤ P 10 昭和46(1971)年に指定された。

- 地-問118. ① P 10 縄文時代から人々の生活が営まれてきた。
- 地-問119. ① P 11 手取川上流で降雨量460mmと平年の55日分の雨が降り、手取川で氾濫した洪水が、手取川左岸から梯川右岸一帯にかけて巨大な湖を作り、大災害が発生した。
- 地-問120. ⑤ P 11 昭和53(1978)年に竣工された赤瀬ダムは、小松の動脈である梯川の上流にあり、洪水軽減などのために作られた重力式コンクリート型のダム。

# 歴 史 編

- 歴問101. ④ P 13 明治22(1889)年に、小松、安宅が町になった。
- 歴問102. ② P 13 小松町・安宅町・牧村・板津村・白江村・苗代村・御幸村・栗津村の2町6か村が合併して市制が敷かれた。
- 歴問103. ③ P 13 第2次編入合併が行われた際の面積は、372.75km<sup>2</sup>。人口は88,707人。
- 歴問104. ③ P 17 昭和63(1988)年に新市庁舎が完成した。
- 歴問105. ④ P 17 平成元(1989)年に新市民病院が開院した。
- 歴問106. ① P 19 八里向山遺跡(旧石器) → 念仏林遺跡(縄文) → 八日市地方遺跡(弥生) → 矢田野エジリ古墳(古墳) → 額見町遺跡(飛鳥～平安)。
- 歴問107. ④ P 20 弓矢の先に付ける矢じりを含め約5,340点の石器類が見つっている。
- 歴問108. ③ P 21 弥生時代中期の「小松式土器」の標識遺跡ともなっており、学術的にも貴重な物である。
- 歴問109. ② P 21 6世紀に造られた全長30m程度の小さめの前方後円墳。
- 歴問110. ④ P 22 「切石積横穴式石室」をもつ12号墳は、全国でも珍しいアーチ型天井。
- 歴問111. ⑤ P 23 オンドル状遺構と呼ばれ、カマドの煙道を住居の壁に沿ってL字形に取りつけたもので、煙道を伝わる熱で住居内を暖めようとした施設と考えられる。中国東北部や朝鮮半島北部の竪穴式住居に見られる「オンドル」と呼ばれる床暖房施設とよく似ている。
- 歴問112. ② P 23 須恵器と呼ばれる陶器質の焼物で、5世紀に朝鮮半島から穴窯焼成技術とともに伝播したもの
- 歴問113. ② P 24 織田軍(柴田勝家)に対抗するために、一向一揆の首領・若林長門が築いたとされている。
- 歴問114. ③ P 24 面積は金沢城の倍近い約56万m<sup>2</sup>、堀は面積の約30%の約17万m<sup>2</sup>であった。

- 歴問115. ① P 25 丹羽 長重(1571年-1637年)。織田氏家臣・丹羽長秀の長男。幼名は鍋丸、通称は五郎左衛門、号は玉峯。小田原征伐に従軍した功によって、加賀國小松12万石加増移封され、このときに従三位、参議・加賀守叙位・任官されたため、小松宰相と称された。
- 歴問116. ② P 25 浅井嘯の戦いとは、慶長5(1600)年に起こった北陸地方における前田利長(東軍)と丹羽長重(西軍)の戦い。西軍に与して戦ったため、戦後にいったん改易となる。
- 歴問117. ④ P 28 慶長10(1605)年6月、利長は隠居し、利常が前田家の家督を継いだ。利常12歳。
- 歴問118. ② P 28 前田利常によって、城下町の整備、加賀絹・小松表・製茶・瓦生産などの保護奨励が行われ、小松市発展の基礎が築いた。
- 歴問119. ④ P 28 寛永16(1639)年～万治元(1658)年の19年間。
- 歴問120. ① P 30 富樫左衛門は平安時代末期・鎌倉時代初期の武将。「安宅」、「勸進帳」の安宅の関関守・富樫左衛門のモデルとしても知られる。
- 歴問121. ⑤ P 30 社寺、仏像、鐘や橋梁などの造営・修復のために資財を募ることを記した趣意書。
- 歴問122. ④ P 31 曳山子供歌舞伎は、この文化と町人の財力、心意気、そして職人たちの技によって明和3(1766)年ごろ、龍助町と西町から始まったと言われている。
- 歴問123. ⑤ P 31 上記 歴問122 参照。
- 歴問124. ② P 31 平成11(1999)年から「お旅まつり」にあわせて実施される。地元小松の子供歌舞伎は、曳山上演と劇場(こまつ芸術劇場うらら)上演で披露される。
- 歴問125. ④ P 32 仏御前(1160年-1180年)。原の里(小松市原町)で堂守白河兵太夫の娘。
- 歴問126. ③ P 32 幼い頃から仏心が深く、いつも「南無阿弥陀仏」と口にしていたので村人から「仏」と呼ばれるようになったことから。
- 歴問127. ⑤ P 32 清盛の前で初めて歌い、舞ったときのもの。
- 歴問128. ② P 35 元禄2(1689)年7月24日に金沢から小松に来た。

- 歴問129. ④ P 35 7月24日～27日(3泊)と8月5日～6日(1泊)で、計4泊。
- 歴問130. ③ P 35 日吉神社神主、藤村伊豆(俳号鼓蟾)が詠んでものである。
- 歴問131. ① P 37 蕉門十哲の一人で、加賀蕉風の中心人物。
- 歴問132. ③ P 37 金沢が大火に見舞われ、北枝の家も焼けてしまった。大火後に詠んだ句。
- 歴問133. ④ P 38 別当には北野天満宮から、当時の連歌の第一人者であり都で上皇や公卿の連歌の指導も行っていた梅林院能順を招いた。
- 歴問134. ⑤ P 38 元禄2(1689)年8月6日、松尾芭蕉は梅林院能順を訪ねて小松天満宮を訪れている。
- 歴問135. ③ P 39 公娼制度が廃止、また国道筋での営業禁止などもあって、明治33(1899)年に、串茶屋の廓は約300年にわたる歴史の幕を閉じた。
- 歴問136. ② P 39 年季明けを願って正八幡神社に奉納したという8対の狛犬はおかっぱ頭。おかっぱ頭に釣り目にブタ鼻、ニッと笑ったその表情。
- 歴問137. ③ P 39 一般的に遊女の墓は一括供養されている場合が多いが、串茶屋では個々に手厚く葬られている。現在34基が確認されている。
- 歴問138. ① P 40 天和2(1682)年頃は金山として金が採掘され、その後廃山となった。宝永年間(1704年-1710年)に再び金の採掘が行われた。しかし、金山としては品位が低く、盛業にはいたらなかった。
- 歴問139. ③ P 40 銅山として脚光を浴びる。明治19(1886)年に銅鉱石の新鉱脈が発見されてから隆盛期を迎える。明治36(1903)年には銅生産量が1,000tを超えた。
- 歴問139. ③ P 40 銅山として脚光を浴びる。明治19(1886)年に銅鉱石の新鉱脈が発見されてから隆盛期を迎える。明治36(1903)年には銅生産量が1,000tを超えた。
- 歴問140. ③ P 42 明治35(1902)年、竹内明太郎が経営に当たり、近代的な経営により業績を上げ、遊泉寺は鉱山町として賑わった。
- 歴問141. ⑤ P 42 大正9(1920)年に閉山となった。
- 歴問142. ② P 44 昭和45(1970)年5月、梯川流域の農用地の産米から1.0ppm以上のカドミウムを含むものが多く検出され、また、梯川中部河川水から基準値(0.01ppm)を上まわる0.012ppmのカドミウムが検出された。

- 歴問143. ⑤ P 44 平成4(1992)年、汚染地区として残っていた25.8ヘクタールが、県公害対策審議会土壌部会で指定解除となり、17年ぶりに全地区で汚染に終止符が打たれた。
- 歴問144. ④ P 45 全長16.8km(新小松―尾小屋間)の軽便鉄道。
- 歴問145. ② P 45 銅の採掘は北陸鉱業を設立して引き継いだが、精錬部門は閉鎖され、尾小屋鉄道は名古屋鉄道の系列下におかれた。
- 歴問146. ② P 46 全長5.9km(小松―鵜川遊泉寺間)。
- 歴問147. ⑤ P 46 遊泉寺鉄道は、昭和20(1945)年5月25日に北陸鉄道に営業権を譲渡し、7月に北陸鉄道小松線となった。
- 歴問148. ② P 47 昭和33(1958)年、小松飛行場に航空自衛隊小松基地開設の調査受け入れを提案した。昭和36(1961)年に航空自衛隊小松基地開庁。
- 歴問149. ① P 48 昭和16(1941)年1月14日、山口又八が初代小松市長になる。
- 歴問150. ③ P 48 10代市長。

# 産 業 編

- 産-問101. ⑤ P 50 慶長元(1596)年、谷内浜において営まれたのが、能登塩田のはじまり。それを前田利常が、農民救済のために、塩手米の制度をひいて能登一帯にわたって奨励した。
- 産-問102. ④ P 50 前田利常公が京都に人を送り織物を研究させ、加賀絹の発展へと導いた。
- 産-問103. ② P 51 辰巳用水。表向きの目的は防火用水。しかし、城の防御強化、そして辰巳用水を活用した積極的な新田開発も意図されていたようである。
- 産-問104. ① P 51 延べ14万人以上の人数(毎日 500人以上の人)で同時に工事を行い、1年未満(一説では9ヶ月)で完成。
- 産-問105. ③ P 52 文書が1,373点残されており、市指定文化財になっている。
- 産-問106. ⑤ P 53 米谷家は藩政時代から明治にかけて北前船の回船問屋をしていた家柄。
- 産-問107. ③ P 53 6代米谷半平は、嘉永4(1851)年に安宅に生まれた。
- 産-問108. ② P 53 6代米谷半平が、小松町に有限会社米谷銀行を開設(明治24(1891)年)。
- 産-問109. ① P 54 竹内 綱の長男が竹内明太郎。五男の茂は吉田健三の養子となり、後の総理大臣・吉田茂である。兄弟は5男5女の10人
- 産-問110. ③ P 54 尾小屋鉦山は加賀藩の家老であった横山家が経営。
- 産-問111. ① P 55 明治43(1910)年に帝国ホテルが初めて館内に洗濯する施設を設置し、ホテルで使用する寝具関係や宿泊客の衣類を洗濯する独自の「洗濯部」を設けた。
- 産-問112. ④ P 56 第17代は昭和20(1945)年、第19代は昭和29(1954)年。
- 産-問113. ④ P 56 アメリカの事情に詳しく、アメリカ財界人の人望もあった。
- 産-問114. ② P 57 白石 多士良。竹内 明太郎は創業者。
- 産-問115. ① P 59 周辺地域を含めて約50社が操業している。

- 産-問116. ① P 60 日野、いすゞ両グループの Joint (結合)、日野の“H”、いすゞの“I”。
- 産-問117. ② P 60 クマリフト(株)は業務用と家庭用のエレベータの製造会社。
- 産-問118. ⑤ P 61 平成12(2000)年加賀市、旧山中町、小松市、旧辰口町の4森林組合が広域合併。さらに平成19(2007)年に白山森林組合が広域合併。
- 産-問119. ⑤ P 61 クマ・イノシシ・シカなど野生獣被害を防止するための緩衝帯整備事業。
- 産-問120. ① P 63 近年の健康志向により、大麦のもつ優れた栄養価が見直され、市内の菓子店や飲食店では大麦を活用した新たな商品開発が行われている。
- 産-問121. ③ P 67 昭和58年10月28日に開場した。
- 産-問122. ④ P 68 昭和19(1944)年11月15日に誕生した。
- 産-問123. ① P 68 防衛省(航空自衛隊)と国土交通省(大阪航空局)が共同管理。
- 産-問124. ④ P 62 昭和36(1961)年12月に開庁した。
- 産-問125. ③ P 69 東京、札幌、福岡、那覇の4路線。仙台・成田は現在運休中。
- 産-問126. ② P 70 ソウル、上海、台北の3路線。香港は現在運休中
- 産-問127. ① P 71 ルクセンブルクの1路線。アゼルバイジャンは現在運休中。
- 産-問128. ⑤ P 71 7 : 3 0 ~ 2 2 : 3 0 の 1 5 時間。
- 産-問129. ② P 72 小松空港の利用目的の第1位は、観光(40.8%)
- 産-問130. ③ P 72 訪問先第1位は、金沢市(52.4%)
- 産-問131. ② P 73 北鉄加賀バス(株)と加賀白山バス(株)の2社。
- 産-問132. ③ P 74 北陸新幹線の総延長は、約700km。
- 産-問133. ③ P 74 北陸新幹線の最高速度は、260km/h。
- 産-問134. ⑤ P 75 「しらさぎ」は米原・名古屋方面の特急名。
- 産-問135. ③ P 77 令和3(2021)年3月末日現在、127商品が認定されている。



# 観 光 編

- 観-問101. ① P 79 下女「お末」と下男「竹松」の恋物語が祭りのおこりであるといわれている。
- 観-問102. ② P 79 養老2(718)年に泰澄大師によって開かれた「高野山真言宗」の寺院。
- 観-問103. ⑤ P 79 「瞑想の足湯」をコンセプトに作られた。平成23(2011)年に完成した。
- 観-問104. ③ P 83 三十三カ所はすべてこの山に凝縮されるとし、西国三十三観音の一番「那智」と三十三番「谷汲」の山号から一字ずつを取り、「那谷寺」と改名。
- 観-問105. ⑤ P 84 前田利常が発願し、明暦3(1657)年に創建された。
- 観-問106. ② P 86 別名は「いぼ池さん」。境内のいぼ池の水には諸病平癒、特に「いぼ」が取れるといわれている。
- 観-問107. ① P 86 寛永16(1639)年、利常公が小松城に隠居する際、金沢から招かれ、「五穀寺」と称した。正保元(1644)年、現在の場所に新たに社が建立された。その際に小松城の守護神として葭島に鎮座していた「稻荷大明神」を合祀して、「稻荷社」と称された。別名「浮島」とも呼ばれた小松城のお堀の中には8つの島があり、そのうちの 하나가「葭島」と呼ばれていた。以来、国家安泰、五穀豊穰、殖産興業の守護神として広く崇敬されてきた。
- 観-問108. ④ P 87 別名は「釜谷さん」。前田利常が幡生の総社・呉服明神・加賀絹の守護神として、深く崇敬したので、小松の機織業の参拝が多くなった。
- 観-問109. ③ P 87 永禄11(1568)年、金沢の大乗寺第十三世雪窓祐輔大和尚によって開基された。松尾芭蕉が宿泊したといわれている。「しほらしき 名や小松吹く 萩すすき」の句碑と、小松市指定文化財になっている「芭蕉木像」がある。
- 観-問110. ⑤ P 87 天台宗のお寺だったが、後に改宗(浄土真宗大谷派)。寺門は小松城二の丸にあった鰻橋御門(明治5(1872)年移転)で、小松城の遺構として小松市指定文化財になっている。
- 観-問111. ④ P 88 開基は親鸞聖人のお弟子、和田の親性。当初は和田道場と呼ばれていた念仏道場。

- 観-問112. ② P 88 約1,000年前、天台宗円満寺として開創され、約540年前に本光寺と名を変更。
- 観-問113. ① P 88 加賀で真宗最古のお寺。明治11(1878)年、明治天皇の北陸巡行の折、宿泊所となった。御座所や茶室などが当時の状態のまま保存されている。
- 観-問114. ③ P 89 本願寺五世の綽如上人が北国へ下向したとき、加賀市弓波の地の村人の請いによって天台宗諦通院の跡地に寺基を興し、勝光寺と称した。浄土真宗の教えが弓波の地にあらわれた最初である。
- 観-問115. ③ P 89 親鸞聖人と顕如上人の影像軸「群中御影」(小松市指定文化財)を保管している。小松六ヶ寺が持ち回りで会場となり、毎年7月23日に勤修され、俗に「なすびの報恩講」として親しまれている。
- 観-問116. ① P 90 ハニベ巖窟院は、一彫塑家が元石切り場を利用して、洞窟内に百数十体に及ぶ仏像を作り安置したのがはじまりで、究極の地獄巡りができる日本最大の仏洞である。
- 観-問117. ④ P 91 世界のクラシックカー、伝統の車、親しまれた国産、外国車の大衆車、名車を約500台展示してある。
- 観-問118. ② P 91 平成24(2012)年4月に子供たちのためのプレイエリア「ぶ〜んぶんワールド」がオープンした。
- 観-問119. ⑤ P 92 こまつの杜は、コマツ創立90周年記念事業の一環として、一般の人や子供たちが建設機械に対して親しみを持ってもらえるよう、平成23(2011)年5月、小松工場跡地にオープンものである。
- 観-問120. ② P 93 博物館をはじめ、美術館、図書館、茶室などの文化施設を有し、中央には二つの池と滝、それらを結ぶせせらぎを中心に池の後背に築山を配した池泉回遊式庭園となっている。松の名木をはじめ、桜や藤、ツツジ、菖蒲、百日紅、紅葉、雪吊りなど四季折々の風情を楽しむことができる。
- 観-問121. ③ P 94 十二ヶ滝、象岩(弁慶の足跡)、観音山、烏帽子岩、鱒留の滝、鷹落山、大滝、大倉岳 以上8カ所が「西尾八景」として選定されている。
- 観-問122. ① P 94 杉の美林に囲まれた苔むす庭園や神社、古民家など全国農村景観百選に選ばれた。
- 観-問123. ⑤ P 95 食育レストランや温泉入浴、スポーツや運動による健康増進、館内では趣味や体験による学びをテーマとした多彩なカリキュラムにより、仲間づくりと生き生きとしたライフステージが楽しめる施設である。

- 観-問124. ④ P 97 人間国宝・三代徳田八十吉の生家であり、初代から三代にわたり、九谷焼の工房、そして生活の場として利用していた場所。錦窯や九谷焼をより多くの人に知ってもらえるようにと、三代八十吉氏が小松市へ寄贈し、平成11年に開館。館内の至るところに初代の遺品や上絵付の道具、作品、貴重な資料が多数展示されている。
- 観-問125. ③ P 98 九谷セラミック・ラボラトリーは、令和元(2019)年5月24日にオープンした九谷焼の複合型文化施設である。
- 観-問126. ① P 99 旧尾小屋駅跡地に保管されていた尾小屋鉄道の蒸気機関車(5号蒸気機関車)・気動車(キハ3)・客車(ハフ1)の3両を移設、保管庫を新築し、平成14(2002)年4月にオープンした。鉄道関係の資料も合わせて展示し、尾小屋鉄道の歴史も振り返ることができる。
- 観-問127. ⑤ P 99 遊泉寺銅山跡(コマツ発祥の地)に、コマツ創立100周年記念事業の一環として、整備が進められていた公園「遊泉寺銅山ものがたりパーク」が令和3(2021)5月8日にオープンした。
- 観-問128. ① P 100 0歳からの絵本との出会いを推進するために作られた施設で、赤ちゃんが肌のぬくもりを感じながら豊かな心と言葉を育み、家族とともに成長していく、そんな願いが込められている。
- 観-問129. ⑤ P 101 世界的に有名な建築家・黒川紀章氏の設計による美術館。小松市出身の銀行家、故・本陣甚一氏のコレクションの数々が収蔵・展示されている。コレクションは約40年かけて集められたもので、所蔵品は近現代の日本画を中心に油彩画、書画、陶磁器、漆工、金工、木工・木彫、人形、ガラスなど、その内容は多岐にわたる。
- 観-問130. ① P 103 毎年5月の2週目の金曜日から3週目の日曜日の3日間開催される菟橋神社(お諏訪さん)と本折日吉神社(山王さん)の春季祭礼。県指定無形民俗文化財。
- 観-問131. ③ P 103 寛政年間には十数基あったが寛政の終わりには8基に減り、文化10(1813)年には10基に増えたが、昭和5(1930)年と昭和7(1932)年の大火で、それぞれ1基の曳山を焼失し、現在8基である。
- 観-問132. ② P 105 伝統文化の理解を深め継承していくために、市内の中学校では昭和61年から「中学校古典教室」を実施。毎年、持ち回りで1校が「勸進帳」を上演するというもの。役者、着付けや化粧、大道具・小道具などの裏方、公演パンフレットづくりまで、すべてを生徒たちの手で行っている。

- 観-問133. ① P107 毎年、向本折白山神社では、秋祭りが終わった夜に悪魔祓いの儀式が行われる。鬼面と妊婦の姿をした女面が舞う神楽は、まさに鬼気せるものがある。
- 観-問134. ④ P107 原町の個人宅に安置されている仏御前の乾漆坐像の前で、白拍子の舞を奉納し、近隣から集まった人々は縁起を読んで仏御前を偲んでいる。原町の子供たちが扮する白拍子も凛々しく美しく、仏御前を彷彿とさせる。
- 観-問135. ① P108 毎年石川県で開催される「ジャパンテント」の期間中に、小松市では「スモールワールド in KOMATSU」が賑やかに繰り広げられる。元は留学生達を歓迎するために始まったが、今では小松市在住外国人も交えた一大イベントに成長。在住外国人たちが、自国の料理を作ってふるまったり、ダンスを披露したりする。民族衣装の着付けや、お茶会、日本食のコーナーもあり、国際交流は大いに盛り上がる。

# 文 化 編

- 文-問101. ③ P110 この時期の九谷焼を古九谷という。
- 文-問102. ② P110 古九谷はおよそ50年で製造が中止された。
- 文-問103. ⑤ P110 大聖寺藩の豪商 吉田屋 の豊田伝右衛門は、栗生屋源右衛門と出会い、九谷焼の再興を成し遂げた。
- 文-問104. ③ P110 上絵に青(緑)黄紫を用いた大胆な図柄で、豪快で力強い骨描きと色彩が重厚で男性的である。
- 文-問105. ② P111 徳川泰平の文化文政時代を反映し、やわらかい画風が特徴。古九谷風を最も受け継ぐ作風といわれ、青黄紫の三色を用い、花鳥・山水、小紋・草花などが描かれている。
- 文-問106. ⑤ P111 漢学の影響を受け、「竹林の七賢人」など、支那の風俗模様などがいきいきと描き出されている。細い赤色の線が描き出す緻密画に、随所に金彩を施し優美さを醸す。
- 文-問107. ⑤ P112 金粉や金箔を貼り、その上に透明な釉薬を掛けて焼き付けた絵柄。釉薬を通して金が浮き出てくるため、絵の調子が柔らかく、しっとりとした質感と、品の良い輝きがある。金が剥がれないことも特徴。
- 文-問108. ② P112 銀箔を貼り付けた上に、透明釉や五彩の釉彩を塗り、焼き上げた技法。銀箔が剥がれないうえ、錆びないのが特徴。釉裏金彩と同様、絵の調子が柔らかく、抑えた質感で、上品さが漂う。
- 文-問109. ④ P112 陶磁器の上絵を焼きつけるのに用いる窯。内窯と外窯からなる二重造りで、内窯に器物を入れ、内・外窯の間に燃料を入れて焼く。江戸時代から全国各地で用いられていたが、電気窯やガス窯が普及した現在では、とても珍しく貴重なものとなっている。  
錦窯展示館(小松市大文字町95-1)でみることができる。
- 文-問110. ② P113 丘陵の斜面を階段状に整地し、焼成室を連続して構築した地上式窯。焚口の炎は、第1房の正面側下底の通炎孔から噴射して昇炎壁にぶつかり、上昇して天井に当たった後、製品の間を通過して下降。焼成室背面床近くの通炎孔に再び吸い込まれて次の房へとめぐってゆく。  
登窯展示館(小松市八幡己20番地2)でみることができる。

- 文-問111. ② P114 若杉窯は、文化2年(1805)年に若杉村の林八兵衛が開窯した。文化4(1807)年、加賀前田家12代斉広は殖産政策の一つとして窯業を再開し、京都から青木木米を招いて金沢卯辰山に春日山窯を開窯した。同行してきたのが、島原出身の陶工・本多貞吉である。この貞吉が花坂で陶石を見つけ、文化8(1811)年から磁器生産を行った。
- 文-問112. ③ P115 昭和47(1972)年、小松市教育委員会により、「若杉窯発掘調査委員会」および「若杉古窯調査団」が組織され、7月21日より8月9日までのべ17日間発掘調査が実施された。
- 文-問113. ③ P116 <sup>すいひ</sup>水簸とは、精粉になった陶石を水に浸し鉄粉などの浮遊物をとる作業。
- 文-問114. ④ P116 土もみとは、ヒビ・ひずみの原因となる陶土内の空気泡をなくす作業。
- 文-問115. ③ P117 基本的に素焼(700～900℃)と本焼(1200～1300℃)の工程に分かれる。
- 文-問116. ② P117 染付は、素焼きの素地に呉須と呼ばれる酸化コバルトの顔料で絵を描き、透明釉をかけて焼成したもの。
- 文-問117. ③ P117 交趾は、締焼の素地に九谷焼独特の透明感のある深い色合いの釉薬を部位部分に配色したもの。
- 文-問118. ① P117 素焼きの後、つまり、釉薬を掛けて焼成する前に色や絵をつけるのが下絵付け。釉薬を掛けて本焼きをした後に描きその後焼き付けるのが上絵付け。
- 文-問119. ② P119 三代 徳田 八十吉(彩釉磁器-1997年6月6日)と田 美統(釉裏金彩-2001年7月12日)の2人。
- 文-問120. ⑤ P119 上記 文-問119参照。
- 文-問121. ④ P122 昭和28(1953)年、上絵付(九谷)の分野で「助成の措置を講ずべき国の無形文化財」に認定される。
- 文-問122. ② P123 「葡萄模様花瓶」を出品し、1等賞を獲得したことで、これまでの実績とあいまって上絵付けの第一人者としての名声を得た。
- 文-問123. ① P126 昭和3(1928)年、初代八十吉に最初に師事し、古九谷風の深い色絵の具の扱いを学んだ。昭和21(1946)年、北出塔次郎に師事し、近代的な色絵技術を学び、独特の色絵装飾の世界を創り出した。
- 文-問124. ② P127 平成4(1992)年秋、文化功労者に顕彰された。文化功労賞受賞。

- 文-問125. ① P 130 30歳のとき、日展に初入選。作品は 器「あけぼの」。
- 文-問126. ④ P 131 色を使い分け、色の濃淡(グラデーション)のみで作品を仕上げる技法。耀彩とは三代 徳田八十吉自身が名付けたもので、「光り輝く彩」の意味。
- 文-問127. ② P 133 錦山窯の三代として生まれ、釉裏金彩の保持者で、平成13(2001)年に人間国宝に認定された。
- 文-問128. ⑤ P 133 陶芸作家・加藤土師萌の遺作展で、釉裏金彩という技法に衝撃を受け、これをきっかけに「釉裏金彩」の世界に入り、誰も手がけたことのない、花や蝶などをモチーフにした具象表現を追究する。
- 文-問129. ⑤ P 135 小松城に関わった文献等の記録はない。
- 文-問130. ② P 135 藩政時代、御大工頭に任命されたのは35名。
- 文-問131. ⑤ P 136 昭和30(1955)年に銅鑼で重要無形文化財保持者に認定された。
- 文-問132. ① P 136 明治37(1904)年から大正5(1916)年まで大阪の仏具製造師山口徳蔵に師事し、鑄金技術を学び、中でも砂張の鈴の鑄造を研究する。
- 文-問133. ④ P 138 宮本三郎の遺作(絶筆)名は、「假眠」。
- 文-問134. ② P 138 宮本三郎の作品ではないのは、「太陽婦人」。
- 文-問135. ① P 140 昭和16年、妻の郷里である小松市へ疎開。
- 文-問136. ⑤ P 140 代表作は「海の扇」「遠方の人」「風の吹く道」「野菊の露」「紅蓮物語」「谷間の女たち」など。「美しき家族」は北村喜八の作。
- 文-問137. ③ P 141 「三郎と若枝」は、映画「非行少女」(日活映画)になり、モスクワ映画祭金賞を受賞した。
- 文-問138. ⑤ P 145 昭和17(1972)年7月、「美しき家族」が皇紀二千六百年奉祝芸能祭において「劇団賞」を受賞。
- 文-問139. ③ P 146 昭和35(1960)年12月、母校小松高校の創立60周年に歌を寄せている。
- 文-問140. ③ P 147 「雪は天から送られた手紙である」という名言を残した。

- 文-問141. ④ P147 自身の病気、家族や恩師の死をきっかけに本格的に随筆を書き始め、昭和13(1938)年に出版した作品「冬の華」。
- 文-問142. ③ P149 酢の研究では世界的権威者となった。
- 文-問143. ③ P150 小松市出身で聴覚生理学者の勝木保次博士からの寄附金を活用して、昭和57(1982)年に「勝木賞」が創設された。科学に対する興味・関心が高く、且つ研究意欲に富み、人文・自然科学ともに学業成績優秀な中学3年生に贈られる賞。
- 文-問144. ⑤ P151 昭和49(1974)年に勲五等瑞宝章を受賞した。
- 文-問145. ④ P151 現在は「川文庫」という名称で、小松市立博物館に保管されている。
- 文-問146. ② P154 おとろっしゃ〜」の意味は、「びっくりした」。
- 文-問147. ④ P154 「こすい」の意味は、「悪賢い」。
- 文-問148. ① P156 新婦が嫁ぎ先で落ち着くように食べるお餅。
- 文-問149. ② P165 多太神社が管理している「兜一頭・袖・臍当各一双」は、国指定重要文化財。
- 文-問150. ② P164 13件(31棟)。P164ページ参照。



# 福祉編

- 福-問101. ⑤ P171 介護保険制度とは、加齢に伴う病気などにより介護を必要とする状態になっても、尊厳を保持し、できる限り自立した日常生活を送れるよう、社会全体で支えあう仕組みのこと。
- 福-問102. ② P171 主治医意見書 → 要介護認定の申請 → 訪問調査 → コンピュータでの判定 → 介護認定審査会 → 要介護認定 の順
- 福-問103. ④ P172 要介護1～要介護5の5区分。
- 福-問104. ① P172 要支援1と要支援2の2区分。
- 福-問105. ① P174 訪問介護のみ行われている。
- 福-問106. ④ P174 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)。
- 福-問107. ② P175 令和3年4月現在、8か所 750床。
- 福-問108. ③ P175 65歳以上。施設の充足率は県内でトップクラス。
- 福-問109. ③ P177 1ヶ月5千円の助成券を支給。
- 福-問110. ② P177 28.4%。県平均、全国平均を下回っている。
- 福-問111. ④ P178 安心通報システム事業は、高齢者の緊急通報と安否確認のための福祉サービス。
- 福-問112. ④ P179 令和3年4月1日年現在、グループホーム・ケアホームは20箇所。
- 福-問113. ① P179 聴覚障がい者。手話を通じて聞こえない人との交流活動をしている。
- 福-問114. ② P182 6月、10月、2月 年3回。
- 福-問115. ④ P183 5月、7月、9月、11月、1月、3月 年6回。
- 福-問116. ① P184 認定こども園とは、教育・保育を一体的に行う施設で、いわば幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持っている施設のこと。

- 福-問117. ③ P184 幼保連携型、幼稚園型、保育所型、地方裁量型の4類型(タイプ)
- 福-問118. ① P184 令和3年4月現在、小松大谷幼稚園のみ。
- 福-問119. ⑤ P186 患者を収容し、医師または歯科医師が診察・治療を行う施設。入院用ベッド数は20床以上(医療法)。
- 福-問120. ① P186 病院は9カ所(令和3年4月1日現在)。
- 福-問121. ③ P186 診療所は58カ所(令和3年4月1日現在)。
- 福-問122. ② P186 3つの取り組みは、  
 (1) 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底  
 (2) 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上  
 (3) 健康を支え、守るための社会環境の整備
- 福-問123. ④ P187 小松市では、死因の第一位は悪性新生物(がん)である。
- 福-問124. ③ P187 糖尿病によって引き起こされる合併症は大血管疾患、神経障害、網膜症、腎症があげられる。
- 福-問125. ⑤ P187 塩分の摂取量に気を付けている人の減少が課題となっている。
- 福-問126. ③ P188 肺がん、狭心症、乳幼児の疾病、乳幼児突然症候群があげられる。
- 福-問127. ⑤ P188 歯の受診率が低いことが課題とされている。
- 福-問128. ③ P188 高齢者の健康のための今後の取り組みは、介護予防・認知症予防の推進、高齢者の生きがいづくりや社会参加の推進とされている。
- 福-問129. ② P188 小松市の平成21年～平成28年までの統計の自殺率では、男性及び40～60歳代に自殺する人が多い。
- 福-問130. ① P188 今後の取り組みとしては、自殺対策を支える人材の育成、生きることの促進要因への支援などがある。

# 環 境 編

- 環-問101. ④ P190 毎年5月～11月の間水質検査の項目は、COD(化学的酸素要求量)、SS(浮遊物質)、T-N(全窒素)、T-P(全リン)。
- 環-問102. ① P190 この数値が大きいほど有機物による汚濁が大きい。
- 環-問103. ③ P194 令和元(2019)年の「河川水辺の国勢調査」で、52種確認されている。
- 環-問104. ④ P195 消費型社会ではなく、循環型社会。
- 環-問105. ③ P196 平成17年6月21日に設立され、市内36小・中・高等学校で「計画、実施、点検、見直し」を繰り返しながら環境教育と環境保全活動を推進するプロジェクト。
- 環-問106. ⑤ P200 汚水ポンプ → 最初沈殿池 → 反応タンク → 最終沈殿池 → 消毒 → 梯川に放流
- 環-問107. ① P201 個人が設置する。工事は小松市排水設備工事指定業者。
- 環-問108. ② P202 下水道の整備によって利益を受ける方に、下水道整備に係る事業費の一部を負担してもらうため、受益者負担金を徴収している。
- 環-問109. ④ P203 ごみを減らす合言葉「みんなで進めよう3バック」は、紙にバック、肩にバック、土にバック
- 環-問110. ③ P203 生ごみ分別の監視の推進は行っていない。
- 環-問111. ① P203 小松市大野町信三郎谷1番地。
- 環-問112. ② P204 110t/日(1基あたり55t/24h×2炉)。
- 環-問113. ③ P204 年間委託料は約4億円。
- 環-問114. ④ P204 24.2t/日(1日5時間運転)。
- 環-問115. ③ P204 埋め立て容量は51万m<sup>3</sup>。

- 環-問116. ③ P205 11分別20種類。ごみ処理作業の効率化を図り、リサイクル率の向上を目指している。
- 環-問117. ④ P205 決められた日、場所、分別方法で、朝8時30分までに出す。
- 環-問118. ④ P205 蛍光管、電球・豆電球などは、有害ごみ。
- 環-問119. ④ P206 83品目。
- 環-問120. ④ P209 1個17kgの塊(ペール)にする。

# スポーツ編

- ス-問101. ④ P213 豊かなスポーツライフ。夢、感動を与えるスポーツを推進し、「スポーツをする、観る、支える」すべての市民が、仲間とともにさまざまなスポーツを楽しみ、健康を増進し、生きがいを感じ、絆を深めることができる“豊かなスポーツライフ”を目指す。
- ス-問102. ⑤ P213 スポーツ交流の推進
- ス-問103. ② P214 昭和23(1948)年5月に小松市体育協会が誕生した。
- ス-問104. ④ P214 平成25(2013)年3月に公益社団法人の認可を受けた。
- ス-問105. ③ P214 スポーツを通して、青少年の心と体を育てる組織を地域社会の中に！
- ス-問106. ③ P214 昭和41(1966)年に誕生した安宅スポーツ少年団が最初。
- ス-問107. ③ P214 各校下に1名以上で35名。地域住民のスポーツ振興のために活動。
- ス-問108. ① P214 種目別クラブの数は362クラブ。11,048人。
- ス-問109. ② P214 5クラブ。
- ス-問110. ③ P215 ハンドボールはオープン競技。
- ス-問111. ⑤ P215 パークゴルフは対抗競技。
- ス-問112. ② P216 中学生及び高校生を対象。
- ス-問113. ③ P216 優秀な活動状況から将来のスポーツ活動に期待できると思われる小学校5年生、6年生を対象。
- ス-問114. ④ P216 対象は陸上、水泳、自転車競技者。大会(公認)で市標準記録以上のもの。過去に受賞している場合はその記録を上回ったもの。
- ス-問115. ③ P218 第19回 メキシコシティ大会(1968年)。ボート競技(種目名：エイト)で出場。記録は12位(6分52秒02)。
- ス-問116. ① P219 サッカー(ポジション：FW)で出場。

- ス-問117. ④ P 220 ボッチャ(種目名：混合ペアBC3)で出場。銀メダルを獲得。
- ス-問118. ① P 222 ペンギンをイメージした建物で、駐車場及びシャワー、更衣室完備。き  
のこ噴水や内広滑り台などで楽しく水遊びができる。
- ス-問119. ④ P 225 レーン数は9レーン。全長は1,000m。フラットウォーターレーシング  
コースで国際大会・日本選手権大会が開催できるA級コースとして認証  
を受けている。平成21年6月より文部科学省指定のナショナルトレーニ  
ングセンター競技別強化拠点施設に指定。
- ス-問120. ③ P 225 サイクリングコースは1,466m。